

福岡県労福協 福祉募金贈呈式開催

2018年度(2017年度福祉募金2017年12月1日～2018年3月31日)の福祉募金の取り組みでは、多くの会員、関係団体の皆様から県労福協、各地域労福協へ8,071,576円の募金が寄せられました。

この間、福祉募金集約にあたっては、会員並びに関係団体の皆様には、多大なるご協力をいただきましたこと、誠に感謝申し上げます。

また、これまで、福祉募金の贈呈先は、各地域労福協が地域の福祉施設などの贈呈先を選定し

ていましたが、今年度は、県労福協も独自に贈呈先を2団体選定することになりました。

贈呈先としては、昨年、九州豪雨災害で甚大な被害に見舞われ、今も災害から復興途中の朝倉市(朝倉市社会福祉協議会)、東峰村(東峰村社会福祉協議会)を選定し、西村理事長より、直接、朝倉市並びに東峰村の社会福祉協議会の代表者へ支援金として福祉募金をお渡しいたしました。なお、贈呈式については、写真を掲載しています。

社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会贈呈式

日 時 2018年08月23日(木)
10時00分～

場 所 「朝倉市社会福祉協議会」
朝倉市甘木198-1(ピーポート甘木内)

出席者 (朝倉市社協)
吉田会長、秋穂事務局長、半田課長
(福岡県労福協)
西村理事長、藤吉専務理事



朝倉市社会福祉協議会吉田会長へ

社会福祉法人東峰村社会福祉協議会贈呈式

日 時 2018年08月28日(火)
11時00分～

場 所 「連合福岡応接室」
福岡市博多区店屋町6-5

出席者 (東峰村社協)
梶原会長、和田事務局次長
(福岡県労福協)
西村理事長、藤吉専務理事



東峰村社会福祉協議会梶原会長へ

第15回「NPO助成フォーラム」開催 ～九州ろうきん福岡県本部～

九州労働金庫は、地域社会の一員として、あるいは福祉金融機関としての役割を発揮するため、NPO法人・ボランティアグループなどへの経済的支援を目的とした「NPO助成」制度を設けています。今回で15回目となる2018年度の募集には42団体の応募があり、労働団体・マスメディア・NPO支援組織等で構成されるNPO助成審査委員会による厳正な審査の結果、生活困窮者支援・子育て支援など、様々な分野で精力的に活動されている下記の10団体に対し、総額300万円を助成することが決まりました。

これを受け、8月22日(水)にホテルセントラザ博多で開催した「第15回 九州ろうきん福岡県本部NPO助

成フォーラム」では、助成団体やNPO助成審査委員など34名が参加し、助成金の贈呈式を行いました。また、昨年度の助成団体を代表し「NPO法人 がんのママをささえ隊ネットワーク ETERNAL BRIDGE」と「NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぷ」より、昨年度の助成金を活用した活動報告を行っていただき、フォーラムは盛会のもと終了しました。



第15回NPO助成団体(10団体)

地区	団体名	活動内容
福岡	特定非営利活動法人 フードバンク福岡	企業・農家・個人等から寄贈してもらった、まだ食べられる食品を食べ物を必要としている福祉施設や個人に届け、廃棄ロスの削減と生活困窮者の支援につなげている。
	千代中学校夜間学級「よみかき教室」	戦後の混乱や貧困、病気など様々な理由で義務教育未修了となった人、不登校等で中学校を「形式卒業」している人、在日外国人等を対象にして、「よみかき教室」を無料で開催。
	NPO法人 ギフテッド	不登校の子ども達を対象にした無償のフリースクールや保護者相談会、我が子が不登校になったママ達をサポートする「ママサポ講座」を開催。
	ふくおかフリースクールフレンドシップ協議会	福岡県内の「学校以外の学びの場・不登校児童生徒の居場所情報」の冊子作成や、フリースクール合同で行う個別相談会の開催。
	福岡子ども支援学生連盟	大学生が子ども支援のボランティアに参加しやすい土壌を作るため、イベントや勉強会の運営を行い、質の高い支援者の育成を行っている。
北九州	生笑一座実行委員会	ホームレス時代の経験を活かして、「生きてさえいればいつか笑える日がくる」というメッセージを、全国の子ども達に届けるため全国各地の学校を巡っている。
	おはなしの会 ぽっかぽか	地域の小学校・児童館で毎月1回「おはなし会」という絵本の読み聞かせを行い、豊かな子どもの成長の手助けする活動を行っている。
	特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所	少子化の進む中、赤ちゃんのホットスポットになっているひびきの地域を中心に、子ども達や子育て家庭をサポートする活動を行っている。
筑後	杷木復興支援ベース	九州北部豪雨災害の復興支援活動。
	福岡県難聴者・中途失聴者協会	難聴者及び中途失聴者に対して、多様なコミュニケーション手段の普及や公共交通機関へリサーチや環境改善活動等、難聴者が社会生活を行う上でのサポート活動を行っている。

福岡県労働者共済生活協同組合 第68回通常総代会ならびに 第1回 全労済九州統括本部福岡推進本部 組合員代表者会議を開催

2018年度活動計画が確認されました

全労済福岡推進本部(福岡県労働者共済生活協同組合)は、2018年7月31日(火)に西鉄グランドホテルにおいて「福岡県労働者共済生活協同組合 第68回通常総代会」ならびに「第1回 全労済九州統括本部福岡推進本部 組合員代表者会議」を開催しました。

全労済は、2017年9月に組織改革を実行しました。具体的には全国を6つの統括本部に再編して経営の基本単位とし、全労済西日本事業本部は、中四国統括本部と九州統括本部に再編され、福岡県本部は福岡推進本部に名称を改め、文字通り推進の拠点として活動をすすめているところです。全労済は創立60周年を迎えましたが、事業推進の取り組みを検証し、New-Zetwork(2018～2021年度中期経営政策)を掲げ「お役立ち」と「共創」で事業を変革し、組合員を支える活動を強化していくことを組合員代表者会議にて確認しました。

引き続き全労済は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、組合員のための共済運動を展開してまいります。



**全労済福岡推進本部は迅速な共済金支払いのために調査活動を実施しております。
「台風7号・豪雨災害」により被災された組合員の方々に心よりお見舞い申し上げます。**

引き続き精力的に調査活動を実施してまいります。

被災受付について (9月11日現在)

県名	被災受付件数	調査必要件数	調査終了件数	調査残件数	調査完了率
福岡	765件	680件	439件	241件	64.6%
全国	6,061件	5,518件	4,643件	875件	84.1%

※調査残件数は、現場調査残件数と書類審査残件数を含む数値となっています。

※岡山県・広島県で2,564件受付しており全国受付の約42%を占めています。

給付状況について (9月11日現在)

県名	火災共済		自然災害共済		慶弔共済		合計 金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
福岡	445	73,863,025	320	169,632,089	51	1,536,000	245,031,114
全国	4,028	3,553,212,947	2,362	6,461,710,742	678	38,495,000	10,053,418,689

奨学金の返済で 悩んでいませんか？



一人で
悩まず
まずご相談
ください

奨学金返済に関する電話相談

お気軽に
お電話
ください

2018年 **11/16** (金) 10:00~17:00

 **0120-154-052**

WEB
アンケート
実施中！

あなたの声、ご意見をお聞かせください。
「奨学金と教育費負担」のアンケートにご協力をお願いします。

実施期限：～2018年11月30日(金)

スマートフォンでQRコードを読み取ってご回答ください。
PCの場合は <https://www.roufuku.net> からアクセスしてください。



一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会
ライフサポートふくおか



一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.roufuku.net/>

[メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろうふく協 NEWS
vol.156

発行 2018年9月27日
発行人 西村 芳樹
編集 藤吉 真二